



農林水産大臣賞を受賞し表敬訪問

「第27回全国青年・女性漁業者交流大会」において農林水産大臣賞を受賞した大正水産有限会社取締役の大和章吾さんが、6月13日(月)、町長を表敬訪問しました。

鹿児島県代表として同大会で発表し、閑散期における農業の導入や零細な漁業へ導入がされていなかったスマート漁業の取組みが水産業の振興に大きく貢献したことを高く評価され、受賞しました。

大和さんは「漁業員や家族などのご支援、ご指導でここまで来れました。賞に見合うよう、成長していきたいです」と話されました。



さくていし 削蹄師 新たに3名増えました

曾於地区牛削蹄師会に本町在住の3名が新しく登録され、5月25日(水)に町長を表敬訪問しました。

本町では5年ぶりの登録となり、2名から5名に増えました。曾於地区では削蹄師が不足しており、町外からの要請にも対応しています。

登録された神田大輔さん、土生湧成さん、山下諒一郎さんは町内外で現在研修中です。神田さんは「大崎町の農家のために少しでも早く一人前になれるよう頑張りたいです」と意気込みを話されました。



カヤックを使い ごみ拾い



5月29日(日)、B&G大崎わんぱく海洋クラブが、持留川において、カヤック8艇を使って水面から川岸のごみ拾いを実施しました。これは、世界中で問題視されているプラスチックをはじめとする海洋ごみの多くが河川を通じて海に流れ込んでいることから、同クラブでは「海・山・川のつながりを考えよう」をテーマに、5月28日～6月12日にかけて全国で実施されている「春の海ごみゼロウィーク」に合わせて、実施されたものです。

当日は幼児や小中高生、保護者等30名ほどの参加があり、参加者はカヤックに乗り込み、網を使って水面から岸辺に流れ込んでいるプラスチックごみや、空き缶、発泡スチロールなどを回収しました。



コラボの梅酒“紡ぐ” 今年もおいしくな～れ

天星酒造株式会社は、山下海征さん(野方)が無農薬で栽培している南高梅を使用した梅酒をつくり、今年で4年目になります。

5月20日(金)、今年の梅酒を仕込むため、同社の社員と山下さんが15本の梅の木から約200kgの梅を収穫しました。500ml入りの梅酒が2,000本程度製造できる見込みで、11月頃から町内の酒店や道の駅などで販売される予定です。

コラボレーションした梅酒はふるさと納税の返礼品としても注目を集めています。

